

# Sunshine 第7回 Lessons

## Lesson 7-1: 前置詞④ (at)

at = (～時) に / (～時～分) に / ～に・で (場所)

<ピンポイントで「ここ!」という地点を指すイメージ>

1:30    2:30    3:30



信濃町駅    四谷駅    市ヶ谷駅

<例> I start my class at 2:30.    (私は私の授業を2時30分に始めます)

We are at Yotsuya \*Station.    (私たちは四谷駅にいます)

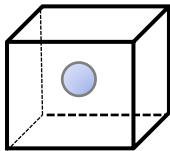
\*「〇〇駅」という場合、基本的に〇〇 Station と s は大文字になるので注意。

### 【in と at の違い】

in = その場所の「中」にいる (ある) 時

at = その場所の「一点 (中とは限らない)」にいる (ある) 時

<例1> どこにいるの?



I am in my house.

<私は家の中にいます>



I am at my house.

<私は家にいます>

(庭かもしれないし、家の中かもしれない)

また「私は駅にいます」という場合、

I am at the station.    (駅の中にいるかもしれないし、駅の外にいるかもしれない)

I am in the station.    (駅の建物の中にいる)

### 【ポイント!】

#### 1. 時間を表す副詞やフレーズは単位の小さいものから

時間を表す副詞や前置詞の含まれたフレーズなどが続けて使われる場合は、基本的に単位の小さいものが前にくる。

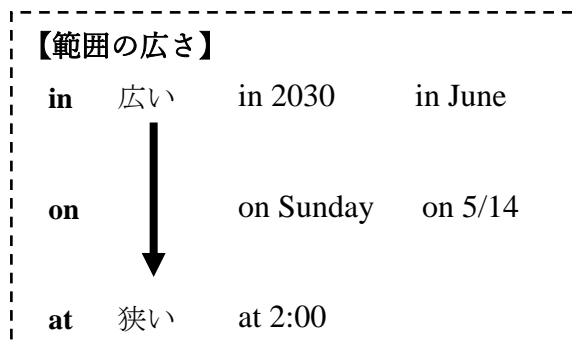
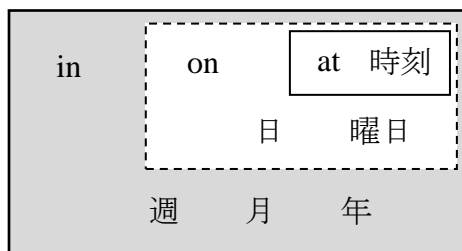
<例> I have a class from 3 o'clock today. (私は今日の3時から授業があります)

#### 2. 家にいるという表現は、at home

Where are you? (あなたはどこにいますか) という質問の答えとして I'm at home. (私は家にいます) という表現もよく使われます。at my home とはならないのがポイントです。

<例> A: Where are you? B: I'm at home. (A: どこにいますか。 B: 私は家にいます)

## 【in/on/at と時間の関係】



## Lesson 7-2: 様々なフレーズ⑥

### 1. have fun (at ~) = (〜で / を) 楽しんで

<例> Have fun at the show. <ショーを楽しんで>

#### 【補足説明】

fun は「楽しみ / 面白いこと」という名詞（形容詞として使うと「楽しみを与えてくれる / 愉快的な」という意味になる）。また、Have fun (at~). と命令文にし、別れの挨拶などにも使われる。

### 2. A, B(,) and C = A, B, と C (3つ以上のものをリストする時に使う)

<例> I like pizza, hotdogs, and hamburgers.

<私は、ピザ、ホットドッグ、そしてハンバーガーが好きです>

#### 【補足説明】

B の後には、カンマを打たれることが多いが、打たない場合もある。また、リストが4つ、5つとなる場合は「最後から2番目の単語(,) and 最後の単語」となる。

<例> I like pizza, hotdogs, hamburgers, and steak.

<私は、ピザ、ホットドッグ、ハンバーガー、そしてステーキが好きです>

### 3. A, but B / A. But B = A だが B

<例> I can't play baseball, but I can play soccer .

<私は、野球はできませんが、サッカーはできます>

#### 【補足説明】

but は「接続詞」と言われるもので、文と文をつなぐ（接続する）役割を果たす。基本的には、But で文は始めないため、A, but B の形となるが、会話や前後関係によっては、A. But B と A で1つの文章が終わり、But で文章が始まることもある。

### Lesson 7-3: 文の途中に入る副詞

ここでは、文の途中に入る副詞について学んでいきます。大きな特徴として、be動詞の文と一般動詞の文とでは入る場所が異なるというところです。

副詞	意味
sometimes	時々
often	しばしば / たびたび
usually	いつもは / たいてい

< 頻度は、sometimes < often < usually の順番で高くなっていく >

#### 【足し方】

文の途中で足される副詞は、「be動詞の文」と「一般動詞の文」とで入る場所が異なります。

be動詞の肯定文 = be動詞の後に足される

<例> They are usually busy. (彼らはたいてい忙しいです)

一般動詞の肯定文 = 一般動詞の前に足される

<例> We sometimes play soccer. (私たちは、時々サッカーをします)

### Lesson 7-4: some と any

some と any は、両方とも「いくつか / いくらか」という意味で可算名詞・不可算名詞の両方を修飾する形で使うことができます。

<例> 私は、いくつかリンゴを持っています。(可算)

私は、いくらか水を飲みたいです。(不可算)

しかし、some と any は同じ扱われ方をするか・・・と言ったらそうではありません。基本的に some は、肯定文で「いくつか / いくらか」という意味を表し、any は疑問文で「いくつか / いくらか」という意味を表します。また、否定文で any を使うと「少しもない / 全く無い」という意味を表すことができます。

#### 【some と any】

1. some と any は、両方とも「いくつか / いくらか」という意味で使われる。
2. 肯定文 / 否定文 / 疑問文によって使い分けがされる。
3. 可算名詞に some / any が足される場合、可算名詞は基本的に複数形が使われる。

**some** = (肯定文で) いくつか / いくらか

<例> I \*want some apples. (私はいくつかリンゴが欲しいです)

I have some water. (私はいくらか水を持っています)

**any** = (疑問文で) いくつか / いくらか / 何か

<例> Do you want any apples? (あなたは、いくつかリンゴが欲しいですか)

Do you have any water? (あなたは、いくらか水を持っていますか)

**not ~ any** = (否定文で) 少しも~ない / 全く~ない

<例> I don't want any apples. (私は、少しもリンゴが欲しくないです)

I don't have any water. (私は、全く水を持っていません)

《例外の形》

疑問文でも some が使われることもあります。これは、肯定の答えを予想したり、物をすすめたりする時に使われる。

<例> Do you want some water? (水はいかがですか?)

【レストランなどで水をすすめられている場合】

## Lesson 7-5: レストランなどで使われるフレーズ

### 1. What can I get for you? = ご注文は何にしますか

<例> Hi, what I can get for you? <こんにちは、ご注文は何にしますか>

〔補足説明〕

直訳は「私はあなたのために何を手に入れましょうか (Can I ~? で「~しましょうか)」。レストランでウェイターがオーダーを取る時や、ファストフード店で店員が注文をきく時などに使われる。

### 2. Can I have ~? = ~をいただけますか

<例> Can I have two hamburgers? <ハンバーガーを2ついただけますか>

〔補足説明〕

have の代わりに get を使うこともある。また文章の最後に , please を足すこともある。

<例> Can I get two hamburgers, please?

<ハンバーガーを2ついただけますか、お願いします>

### 3. For here or to go? = こちらで召し上がりですか、それともお持ち帰りですか

<例> A: For here or to go? B: For here, please.

<A: こちらでめしあがりますか。お持ち帰りですか。 B: ここでお願いします>

#### 〔補足説明〕

A or B で「A か B」という意味になる。For here or to go? の直訳は「このためか行くためか」となる。go は一般動詞で「to 一般動詞」とすると「一般動詞するため」という意味になる (to 不定詞)。

### 4. Here you are. = (何かを差し出して) はい、どうぞ。

<例> A: Here you are. B: Thank you. <A: はい、どうぞ。 B: ありがとう>

#### 〔補足説明〕

Here you are. の代わりに Here you go. といった表現もよく使われる。またレストランに限らず、何かを差し出す時 (例えば、ペンを貸す時など) には使われる。

### 5. Enjoy your meal. = (あなたの) 食事を楽しんで

<例> A: Enjoy your meal. B: Thank you. <A: 食事を楽しんで。 B: ありがとう>

#### 〔補足説明〕

食事が提供された時などに言われる。enjoy が「楽しむ」という動詞で、meal が「食事」という名詞。命令文となっており、Enjoy. (楽しんで) とだけ言われる場合もある。